

## 2つの「創る」

# 2 まちの楽しさを創る



### 10年後のまちの物語

2031年。大学を卒業して、社会に出るまであと1年。でも準備万端で何も不安がない。だってこれまでクラウドファンディング※を活用して、いろいろなプロジェクトにチャレンジしてきた自信があるから。

最初のチャレンジは、恐竜を使ったお土産品の開発だったな。たくさんあるお土産品の中で差別化が難しく、うまくいかなかったけどまわりに応援してくれる人がいたから頑張れた。その次は地域のために役に立ちたいと思って、地元の商店街を盛り上げるイベントを企画したら、たくさんの大人が協力してくれた。商店街のおじいちゃんや会社勤めのお姉さん、地域おこし協力隊の人や何回も勝山を訪れてくれる市外の人もオンラインで色々とアドバイスをくれたっけ。

私のような若者が気軽にチャレンジができて、周囲がそれを支えてくれる勝山は、これからどんどん新しいプロジェクトが生まれるんじゃないかな。

卒業後も勝山に残って、やりたいことにチャレンジしよう！



## 恐竜、ジオパーク

### かつやまの魅力

昭和 63 年(1988)夏、勝山市北谷町で肉食恐竜の歯が発見されて以来、日本における恐竜化石のほとんどが勝山市から発掘されています。また平成 12 年(2000)には、国内最大級の地質・古生物学博物館として福井県立恐竜博物館がオープンしました。また地球活動の歴史、自然と生き物の関わり、大地の恵みを利用する人々の暮らしや歴史・文化、産業などを楽しく学ぶことができる地域として、市内全域が平成 21 年(2009)に「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」として日本ジオパークに認定されています。



まちの楽しさを創る

### 住民が掘り起こした地域の魅力

地域コミュニティを中心に、独自の自然や風土、伝統や歴史、そしてこの地に培われてきた特有の文化などを生かしたまちづくりを推進してきたことで、地域住民が主体となって 100 を超える事業が実施されました。この中から、冬の名物「北谷の鯖の熟れ(なれ)ずし」や食用油の「野向のエゴマ」などが、商品化されてコミュニティビジネスへと発展しています。

### 課題

- 地域資源である豊かな自然や美しい景観、歴史・伝統・文化など、これまで保存・活用してきたものを継承しながら、今後は、さらに積極的な活用にシフトしていく必要があります。
- 地域資源を活用し地域の魅力を高め、シティプロモーション※など情報発信を強化するとともに、地域外の人々の個人的なニーズを調査・研究し、市民、事業者、行政等が連携して受け入れる体制を整える必要があります。
- コミュニティビジネスなどを生かし、地域の人々と地域外の人々の交流を活性化することで、地域とつながる機会をつくり、地域課題の解決等に継続的に関わる関係人口※を生み出し、関係人口から将来的な地域の担い手を創出する必要があります。
- 「人生 100 年時代※」の到来を見据え、学び直しや働き直しができる環境を整え、いつでも、誰でも「やってみたい」にチャレンジできる仕組みをつくる必要があります。

“まちの楽しさを創る”ための取り組みの方向性

政策目標 1

多彩な交流による  
にぎわいとつながりを創る



- ① 勝山市のあらゆる地域資源を磨き上げ生かすことで、多彩な学びや触れ合いの機会をつくり、地域への理解と価値を共有することで、勝山ならではの交流を促進します。
- ② 勝山市を訪れる動機付けとなるよう積極的な情報発信を行いつつ地域外の人々のニーズに応じた地域資源の活用に取り組み、地域内外の人々の交流を活性化するため市民、事業者、行政等が連携して受け入れる体制を整えます。
- ③ 地域内外の交流を活性化することで、地域課題の解決等に継続的に関わるきっかけを創出し、将来的な地域づくりの担い手となるような関係人口を増やします。
- ④ 関係人口との関係をより強く、深くするため、目的に応じた関わり方ができるよう地域と関係人口のマッチングに取り組みます。
- ⑤ ジオパークの学術的価値の向上に向けて、高等教育機関との連携を進めます。



政策目標 2

やりたいことに  
挑戦できるまちを創る



- ① 市民が主体的に取り組むまちづくり活動を支援します。
- ② 市民一人ひとりが、生涯にわたって主体的に学び続けるための学習機会を通して、まちづくり会館およびコミュニティセンターを拠点とした地域活動の担い手となる人材育成に取り組めます。
- ③ 地域に残る伝統行事や伝統芸能など伝統文化の保存・継承を支援するとともに、市民の文化芸術活動を支援します。
- ④ 高齢者の生きがいとなる趣味活動やボランティア活動、就労的活動などが継続できるよう支援します。
- ⑤ 様々な知識や経験を持つ高齢者が活躍できる仕組みづくりや、能力に応じた活躍の場を設けることで、高齢者の役割と居場所づくりに取り組めます。
- ⑥ 障害のある人が、地域で自立し豊かな生活ができるように、就労的活動や文化芸術活動、スポーツ活動を通じた生きがいづくりの支援に取り組めます。
- ⑦ 男女における性別役割分担意識だけでなく、LGBT など性の多様な価値観に対する理解促進に取り組み、誰もが活躍できる自由と多様性にあふれた社会づくりに取り組めます。
- ⑧ 勝山市の魅力を生かした起業などのチャレンジを支援します。
- ⑨ ジオパークなど勝山の特性を生かした自然体験学習を進め、市民の環境意識とふるさとへの自信と誇りを醸成し、地域資源の保全とともに地域の活性化を進めます。



まちの  
楽しさを  
創る

関連する個別計画	勝山市地方創生総合戦略
	勝山市男女共同参画基本計画
	勝山市文化財保存活用地域計画
	恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク推進実施計画
	勝山市景観計画
	教育に関する大綱
	勝山市老人福祉計画
	勝山市障害福祉計画
	創業支援等事業の計画